

一般財団法人 高専インフラメンテナンス人材育成推進機構

設立に向けて

国内に存在する道路橋約73万橋のうち、政令市を含む市町村が管理する橋の割合は72%に及びます。その多くは高度経済成長期に建設され、老朽化の目安とされる築50年に差し掛かっています。このような膨大な数の橋梁を維持管理するうえで、官民ともに人材の確保は喫緊の課題です。

その課題に応えるべく、福島・長岡・福井・舞鶴・香川の5高専では、橋梁の実物劣化教材を備えた実習フィールドを整備し、高専生や地域の技術者を対象に“地元のインフラを守る”人材育成を進めてきました。このたびこの取り組みを支援する一般財団法人を設立し、インフラメンテナンス人材育成の継続と一層の発展を目指します。皆様からの熱いご支援をお願いいたします。

一般財団法人 高専インフラメンテナンス人材育成推進機構 設立準備室

事業構想

一般財団法人高専インフラメンテナンス人材育成推進機構（KOSEN-REIM）は、各地の高専におけるインフラメンテナンス人材の育成・教育を支援するとともに、地元のインフラを守るための地方公共団体その他への技術支援を行います。さらに、土木・建設系学科を有する全国の高専へのインフラメンテナンス教育環境の整備を目指します。



運営方針

KOSEN-REIM は、各高専で開催される講習会の受講料と、取組みに賛同いただける方々からのご支援により運営されます。財団法人設立までのご支援は「設立賛同金」として資金拠出をお願いいたします。設立後は通常のご寄附をいただくか、KOSEN-REIM の会員（法人・個人・行政）として会費をお支払いいただきます。クラウドファンディングも、準備が整い次第行う予定です。皆様からお預かりした資金は、高専におけるインフラメンテナンス人材育成の支援をはじめとする各種事業に有効に活用させていただきます。

財団法人設立まで	令和5年6月(予定)	財団法人設立後	設立賛同金	HP掲載	記念誌掲載
設立賛同金	寄附	会費	100万円以上	○	○
		※下表参照	1口10万円	○	—
			※個人賛同は1万円より		

会員区分・種別の一覧

特典	会員区分	個人会員	法人会員				行政会員		備考	
			会員種別	ブロンズ	シルバー	ゴールド	プラチナ	一般		賛助
		—	1万円	5万円	10万円	30万円	50万円以上	—	5万円	
技術支援								△	○	維持管理に関する技術支援
会報		○	○	○	○			○	○	活動報告等
HPに団体名掲載		○	○	○	○			○	○	会員種別に応じた掲載
表彰推薦		○	○	○	○			○	○	維持管理大賞(仮称)への推薦
講習会の優先枠		○	○	○	○			○	○	割引なし
イベント参加				○	○			○	○	共同研究のマッチングイベントを想定
実習フィールドへの技術展示					○					自社技術を教材として展示
広報誌等への掲載					○					事業責任者インタビュー(財団への支援への謝意)
講演講師派遣					○					技術発表会での基調講演等へのマッチング
インターン情報紹介					○					インターン募集を関連教育に直接紹介・調整
感謝状										永年会員対応

※行政一般会員への技術支援は対価方式
 ※技術支援に要する費用(交通費、宿泊費、その他技術支援に要する実費)は会員種別に限らず発生

インフラメンテナンス人材の育成・教育

～メンテナンスマインドを持った高専人材の輩出～

令和4年度は、福島、木更津、和歌山、香川高専から夏期インターンシップに合計11名の高専生が参加しました。



《事業内容》
 ・教育環境を活用した、地域の技術者および高専生の教育

～社会人の学び直し、土木技術者の育成～



《事業内容》
 ・eラーニングを中心としたインフラメンテナンス教育プログラムの開発・運営
 ・教育環境を活用した、地域の技術者および高専生の教育

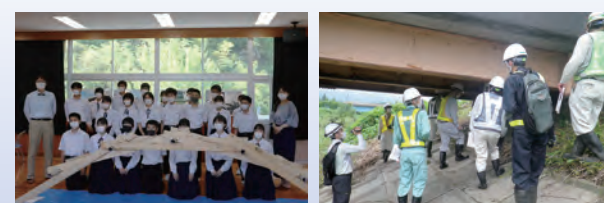
インフラメンテナンス教育環境の整備・提供 ～リアルな実物劣化教材の活用～

福島、長岡、福井、舞鶴、香川に整備した実習フィールドの見学、活用、充実に取り組むとともに、教育環境を全国の高専に広げます。



《事業内容》
 ・全国の高専におけるインフラメンテナンス教育環境の整備
 ・“地元のインフラを守る”ための研究開発および事例研究

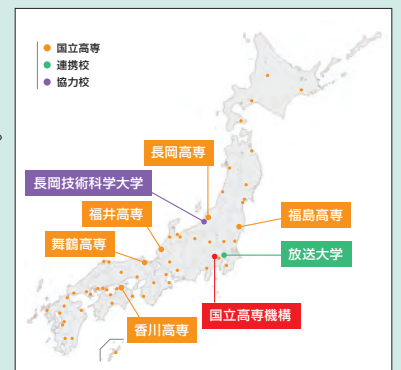
地方公共団体等に対する技術支援 ～“地元のインフラ”を守り、魅力を伝える～



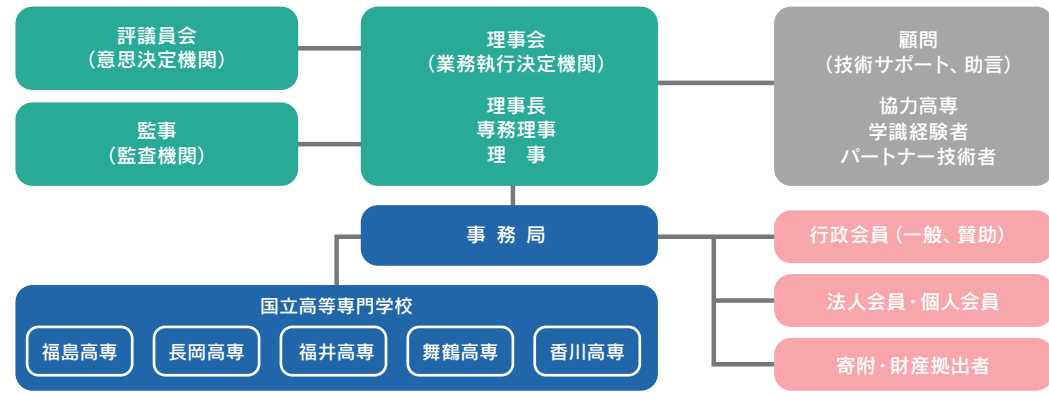
《事業内容》
 ・小中高生に対するインフラ教育、次世代育成
 ・地方公共団体等に対する技術支援
 ・“地元のインフラを守る”ための研究開発および事例研究
 ・“地元のインフラを守る”団体、個人の顕彰
 ・その他、地方のインフラメンテナンス向上に資する活動

KOSEN-REIMの成り立ち

舞鶴高専では2014年に社会基盤メンテナンス教育センター(iMec)を設立し、“地元のインフラは地元で守る”をモットーに、地方の官民土木技術者の技術力向上に取り組んできました。2016年には現在のeラーニング+講習会のスタイルを確立し、2019年度からは、文部科学省『持続可能な産学共同人材育成システム構築事業』により、5高専におけるインフラメンテナンスのリカレント教育事業(KOSEN-REIM)を始動させました。このたび5高専をはじめとする全国の高専インフラメンテナンス教育を支援する財団法人を設立するにあたり、法人の愛称として「KOSEN-REIM」をそのまま使用することといたしました。



組織体制



2023年度設立

事業のご案内

すべての高専に、インフラメンテナンスの学びを



一般財団法人
高専インフラメンテナンス人材育成推進機構

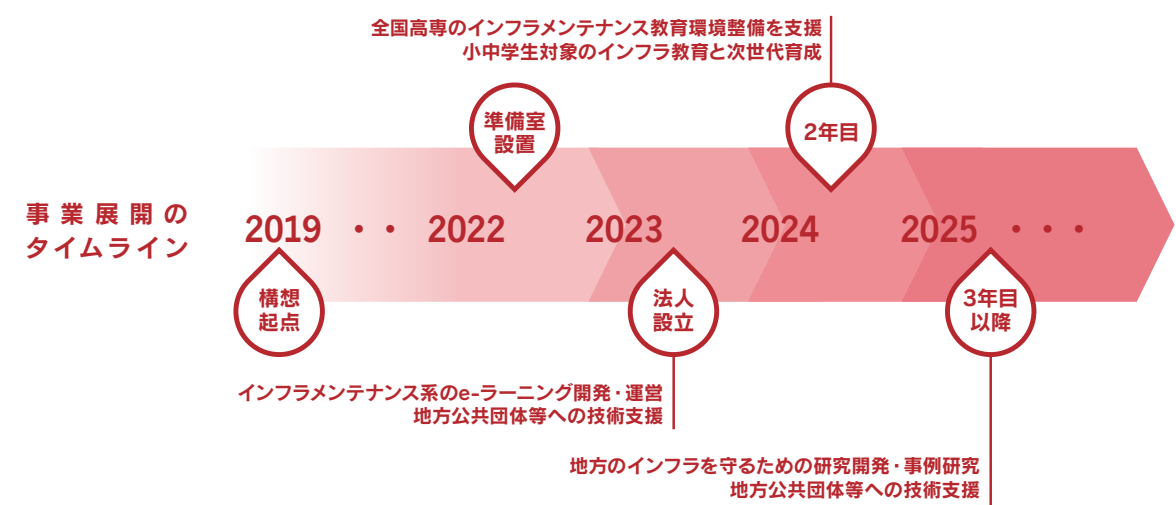
KOSEN-REIM を応援します！

インフラメンテナンス分野における担い手の減少はさらに加速し、もはや持続可能なインフラは望めないのではないかとというのが私の実感です。私がベテラン技術者の診断手順をAIにして残そうとしているのも、適切な診断のできる技術者が日本からいなくなるという危機感からです。

しかし仮に将来、AIがインフラ診断を担うようになったとしても、その結果を読み解き、納得して実行する技術者がいなくなったらどうにもなりません。新しい時代の技術者には「なぜそうなるのか」「どうしてそれをしてはいけないのか」という論理的思考力が不可欠です。高専のリカレント教育には、技術者の論理的思考力を鍛える指導を期待します。



前 国立研究開発法人土木研究所理事長 西川 和廣



問合せ先

一般財団法人 高専インフラメンテナンス人材育成推進機構 設立準備室

〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋234番地 舞鶴工業高等専門学校 社会基盤メンテナンス教育センター内
電話：0773-62-8877 (直通)
Eメール：fpo.kosen-reim@maizuru-ct.ac.jp